

## 地震災害予測研究会（第3回）議事要旨

日 時： 2020年7月3日(火) 14:00～16:00

場 所： WEB会議

出席者：（[ ]は欠席委員 敬称略）

（委員） 林康裕 和泉正哲 北川良和 腰原幹雄 境有紀 山田哲

（機構） 鈴木 山口（リスク業務部）

（事務局） リスク業務部火災・地震リスクグループ

議 事：

1. 被害関数により算出した被害量について、近年の地震の地震保険実績データを用いて推定誤差を確認し、議論した。主な意見は次の通り。
  - A. 低震度域は物理モデルでの説明が難しいこともあり、統計モデルとして構築することも考えられる。
  - B. 将来の予測に資するという観点では、地震そのものの違い、建物の変化、保険契約の変化等の社会情勢など、全体の傾向を把握することが重要である。
2. 地震保険実績に影響を及ぼす要因として、被害率と統計的關係がみられる指標を探索し、結果について説明、議論した。主な意見は次の通り。
  - A. 地震動と建物を精緻にモデル化すれば応答を再現できるのか、応答から地震保険の被害率をどのように推定するのかというところを一つ一つ整理する必要がある。

以 上